

四役・中央執行委員
各 単組委員長 殿
地区港湾議長(委員長)

全国港湾労働組合連合会
中央執行委員長 糸 谷 欽一郎



全国港湾第 10 回中央委員会の決定に基づく当面の取り組みに関する指示

全国港湾は、1月24～25日に、シーパレス日港福(豊橋市)において、各単組及び地区港湾選出の中央委員、及びオブザーバー含め244名の参加で、第10回中央委員会を開催した。中央委員会は、石渡中央委員(検数労連)、赤松中央委員(大港労組)を議長団に選出し、第一号議案 17 年秋年末闘争の経過(案)、第二号議案 18 春闘方針(案)、第三号議案 18 春闘要求(案)、及び第四号議案 17 年度予算の補正について討議した。

開会にあたって、糸谷中央執行委員長は、議員レクという形で非公式ではあるが公取委との協議によって、産別団交や産別統一回答、及び産別協定が独禁法に抵触しないことの確信が得られたことを報告して、力強く 18 春闘を進めると挨拶した。また、定年問題など具体的な労働環境の整備で決着をつける春闘にしようと呼びかけた。

討論は、概ね原案に賛成・補強する立場から延べ21人の発言があり、各議案とも満場の拍手で採択された。

第10回中央委員会後に開催した第5回中央執行委員会は、中央委員会に付託された事項の対応について検討し、直ちに 18 春闘に臨む体制を確立する取り組みを確認した。したがって、各単組・地区港湾は、次の取り組みを促進・具体化するよう、下記の通り指示する。

記

1. 18 春闘に関わる当面の日程等について

- (1) 18 春闘要求は、2月7日(水)13:30 から第1回中央港湾団交を開催し提出する。
- (2) 第10回中央委員会の決定をふまえて、2月6日(火)13:30 から、日港福会館(蒲田)において第6回常任中央執行委員会を開催し、18 春闘要求書の最終確認、中央行動に向けた行政申し入れ等の検討を行う。行政申し入れ案の起案は、中央執行委員会の申し合わせ通り、17 秋年末闘争における申し入れ書の作成者とするので、各位において常任中執に間に合うよう準備のこと。
- (3) 同月19日(月)に、四役会議を開催し要求提出後の諸情勢について検討するので、参加のこと。以降の機関会議などの諸日程については、別途調整する。
- (4) 1月31日(水)16:00 より宮本議員との政策懇談会を行うので、常任中執において対応するので参加を要請する。

2. 18春闘をたたかう体制確立、及び当面の取り組みに関する指示について

- (1) 各単組は、2月末までに18春闘要求実現に向けた産別ストライキ権確認投票・集約を行い、全国港湾中央執行委員会に委譲する手続きを整えること。なお、全国港湾中央執行委員会はスト権委譲を確認し次第、中央闘争委員会として運営し、常任中央執行委員会は戦術委員会として運営する。
- (2) 各地区港湾は、2月13日～3月2日を地区統一行動旬間として設定し、18春闘宣伝行動、産別協定順守キャンペーン、行政交渉、地区港運協会との交渉などを積極的に取り組むこと。行政交渉のための申し入れ書(案)は、原案段階で準備でき次第送付するので活用されたい。
なお、各単組は、地区港湾の統一行動が成功するよう縦指示を取り組むこと。
- (3) 中央行動は3月15日・16日に設定し取り組む。各単組・地区港湾は、中央行動を成功させるための動員等の準備を取り組むこと。なお、中央行動の具体的内容や動員規模等については別途指示する。
- (4) 18春闘を地域・職場から「目に見え、音が聞こえる」ものとして盛り上げるために、宣伝カー用のエンドレステープ、港頭地域張り出しようの大型の横断幕を教宣委員会で準備するので、地区港湾での活用を進められたい。

3. 国民的諸課題に関する中央委員会決定の具体化について

- (1) 総がかり行動実行委員会の呼び掛けた、憲法改悪に反対する3000万人署名について、別途指示するので、各単組・地区港湾で取り組みを推進すること。
- (2) 辺野古新建設反対に取り組む立場から、名護市長選挙(1月28日告示、2月4日投票)において現職の稲嶺市長の勝利をめざす激布を送付することを確認したので、対策委員会及び沖縄港湾において、その具体化を図ること。
- (3) 日本航空不当解雇撤回闘争についての諸行動について、別途指示するので各単組・地区港湾は動員等の取り組みを進めること。

4. 18春闘財政の取り組みについて

- (1) 各単組・地区港湾は、一人500円の18春闘カンパを取り組むこと。なお、納入手続き等については、別途請求書を送付するので対応されたい。
- (2) 17年度財政の補正を行った事により、労働者福利対策費として地区港湾に交付するので、各地区港湾は、地区会計に「地区労働者福利対策費」の収入項目を設けて受け入れ準備を整えること。

5. 地区港湾の18春闘オルグ派遣について

(1) 各地区港湾が取り組む春闘討論集会(臨時大会)等について、四役を中心にオルグ派遣を行う。

(2) 当面、確定している日程については、下記の通り。

- 1月31日(水)13:30～ 日本海港湾湾幹事会(玉田)
- 2月 3日(土)13:30～ 関門港湾春闘討論集会(糸谷)
- 9日(金)14:00～ 全横浜港湾春闘討論集会(糸谷)
- 13日(火)18:00～ 東京港湾春闘討論集会(糸谷)
- 17日(土)10:00～ 名港労協春闘討論集会(玉田)
- 21日(水)13:30～ 神戸港湾春闘討論集会(玉田)
- 3月 5日(月)10:00～ 大港労協臨時大会(糸谷)

<当面の日程>

- 1月29日(月)11:00～ 中央事前協議会
- 18:00～ 日航不当解雇反対一斉宣伝行動(品川駅)
- 30日(火)15:00～ 中央労使政策委員会
- 31日(水)16:00～ 宮本議員政策懇談会
- 2月 1日(木)13:30～ 安定協会/訓練センターフォローアップ委員会
- 6日(火)13:30～ 第6回常任中執
- 7日(水)11:00～ 安定協会制度専門小委員会
- 13:30～ 第1回中央港湾団交
- 8日(水)18:00～ 日航不当解雇反対本社前行動
- 19日(月)14:00～ 第5回四役会議/状況確認など
- 20日(火)14:00～ 日港福業務委員会
- 21日(水)18:00～ 日航不当解雇撤回国民支援共闘会議第8回総会
*於：文京区民センター)
- 23日(金)18:00～ 20労組打ち合わせ
- 27日(火)11:00～ 中央事前協議会
- 18:00～ 日航不当解雇反対一斉宣伝行動(品川駅)
- 3月 5日(月) 午後 労政審港湾労働専門委員会
- 15日(木)10:00～ 安定協会評議員会・理事会
- 午後～ 18春闘中央行動/16日午前までを予定
- 30日(金)11:00～ 中央事前協議会

以上